

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バ ージョン 2.0 インストールガイド



メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、および Dell のロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2015 - 10

Rev. A00

目次

1 Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 について	4
2 システム要件	6
管理システムのシステム要件.....	6
管理対象システムのシステム要件.....	7
3 Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のダウンロードとインストール	9
4 Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のアップグレード	12
5 Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のアンインストール	15
6 デルサポートサイトからの文書へのアクセス	16
7 関連マニュアル	17

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 について

本ガイドでは、Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のソフトウェア要件、システム要件、インストール手順、アップグレード手順、アンインストール手順を説明します。

このプラグインは、Nagios Core によって管理される環境で Dell デバイスを監視する機能を提供します。このプラグインにより、全体的およびコンポーネントレベルの正常性監視を含め、ハードウェアレベルで Dell デバイスを完全に表示できます。プラグインは、Dell デバイスの基本的なインベントリ情報とイベント監視も提供します。また、さらなるトラブルシューティング、設定、および管理アクティビティのための 1 対 1 ウェブコンソール起動もサポートしています。

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 は、次の Dell デバイスをサポートしています。

- Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) with Lifecycle Controller の使用によるエージェントフリーメソッドを使用したデルの第 12 世代以降の Dell PowerEdge サーバー
- Dell Datacenter Scalable Solutions (DSS)
- Dell PowerEdge FX2/FX2s シャーシ、Dell PowerEdge VRTX シャーシ、および Dell PowerEdge M1000e シャーシ
- Dell EqualLogic PS-Series ストレージアレイ、Dell PowerVault MD 34/38 Series ストレージアレイ、および Dell Compellent ストレージアレイ

デバイスサポートの詳細については、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「サポートマトリックス」を参照してください。

表 1. 主な機能

機能	機能性
デバイス検出	<p>Dell デバイスを検出します。検出が完了すると、デバイスごとにホスト定義とサービス定義が作成されます。</p> <p>iDRAC with Lifecycle Controller 経由での Dell サーバーの検出には、SNMP または WS-MAN プロトコルを選択できます。Dell ストレージは SNMP プロトコルを使用して検出され、Dell シャーシは WS-MAN プロトコルを使用して検出されます。</p>
デバイス情報	<p>デバイス検出が正常に行われた後、検出されたデバイスに関する情報（サービスタグ、ファームウェアバージョン、デバイス名、デバイスモデルなど）が表示されます。この情報は、Nagios Core コンソールの ホスト または サービス ビューで表示することができます。</p> <p>デバイスサービスとそれらの説明については、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「デバイス情報」を参照してください。</p>

機能	機能性
デルデバイスの全体的な正常性の監視	デルデバイスの全体的な正常性を監視します。
デルデバイスのコンポーネントレベルの正常性	<p>デルデバイスのコンポーネント（物理ディスク、電源装置、温度プローブ、電圧プローブなど）の正常性を監視し、各コンポーネントに関する情報が表示されます。</p> <p>デルデバイスのコンポーネントレベルの正常性の詳細については、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「デルデバイスのコンポーネント正常性の監視」を参照してください。</p>
SNMP アラートの監視	<p>デルデバイスに対する SNMP アラートを監視します。この機能が表示するのは、最後に受信した SNMP アラートのみです。</p> <p>受信したすべての SNMP アラートを表示するには、Nagios Core コンソールで レポート → アラート → 履歴 に移動します。</p> <p>それぞれのアラートを迅速にトラブルシューティングするために、SNMP アラートに対応した、サポートされている Dell デバイスのアラート Knowledge Base (KB) 情報を表示することもできます。</p> <p>詳細については、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「生成されたアラートの Knowledge Base (KB) メッセージ」を参照してください。</p>
デルデバイス固有コンソールの起動	サポートされている Dell デバイスのトラブルシューティングと管理をさらに行うため、それぞれの Dell 1 対 1 コンソールを起動します。
保証情報	サポートされている Dell デバイスに対して保証情報を監視および表示します。詳細については、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「 デルデバイスの保証情報 」を参照してください。

このプラグインは、Nagios Core のバージョン 3.5.0 以降をサポートします。

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 をインストールする前に、この製品に関する最新情報を得るため、**Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement** または **Dell.com/openmanagemanuals** から最新のマニュアルをダウンロードしてください。

システム要件

プラグインのインストールを行う前に、使用しているプロトコルに応じて、次の要件を満たしていることを確認してください。

共通の前提条件：

- Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされており、すべての Nagios Core コンポーネントが機能している。
- Perl バージョン 5.8.8 以降がインストールされている。
- Net-IP Perl モジュールバージョン 1.26 以降がインストールされている。
- (オプション) Dell 保証情報を表示するために、Java バージョン 1.6 以降がインストールされている。
- (オプション) インターネットプロトコルバージョン 6 (IPv6) を使用した管理下システムの監視のために、Socket6 Perl モジュールバージョン 0.23 以降がインストールされている。
- (オプション) SNMP アラートを受信するために、SNMP トラップトランスレータ (SNMPPTT) がインストールされている。最新バージョンの使用を推奨。
- (オプション) 次のような Dell シャーシのコンポーネント属性情報を監視するために、サポートされている Dell Remote RACADM ユーティリティがインストールされている。
 - Dell シャーシファンスステータスの速度 (RPM)。
 - Dell シャーシ電源装置ステータスの入力電流 (A)。
 - Dell シャーシ電源装置ステータスの入力電圧 (V)。
 - Dell シャーシ電源装置ステータスの出力電力 (W)。
 - Dell シャーシ I/O モジュールステータスの正常性。


サポートされている Dell Remote RACADM ユーティリティのダウンロードとインストールの詳細については、「en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/3205.racadm-command-line-interface-for-drac」にアクセスしてください。

SNMP を使用する場合：

Net-SNMP Perl モジュールのバージョン 6.0.1 以降がインストールされている。

WS-MAN を使用する場合：

OpenWSMAN とその Perl バインディングがインストールされている。

-  **メモ:** iDRAC デバイスの検出には、要件に基づいて SNMP または WS-MAN プロトコルを選択できます。Dell ストレージは SNMP プロトコルを使用して検出され、Dell シャーシは WS-Man プロトコルを使用して検出されます。

管理システムのシステム要件

管理システムの要件は、次のとおりです。

- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7 および RHEL 6.6 (32 ビットおよび 64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 および SLES 10 (32 ビットおよび 64 ビット)

対応バージョンの RHEL および SLES ゲストオペレーションシステムを実行している ESXi もサポートされています。

管理対象システムのシステム要件

管理下システムの必要条件は、次のとおりです。

表 2. Dell デバイス用の対応ファームウェアバージョン

Dell デバイス	ファームウェア	対応ファームウェアバージョン
デルの第 12 世代 PowerEdge サーバー	iDRAC7	2.20.20.20 および 2.15.10.10
デルの第 13 世代 PowerEdge サーバー	iDRAC8	2.20.20.20 および 2.15.10.10
デルの第 13 世代 PowerEdge サーバー (T130、T330、R230、および R330)	iDRAC8	2.22.22.22
Dell PowerEdge R530xd	iDRAC8	2.20.20.20 および 2.12.12.12
Dell PowerEdge R930	iDRAC8	2.20.20.20 および 2.13.13.12
Dell PowerEdge C4130	iDRAC8	2.20.20.20 および 2.15.10.10
Dell PowerEdge C6320	iDRAC8	2.14.14.12
Dell Datacenter Scalable Solutions (DSS 1500 および DSS 2500)	iDRAC8	2.16.16.12
Dell Datacenter Scalable Solutions (DSS 1510)	iDRAC8	2.17.17.13
Dell PowerEdge M1000e シャーシ	CMC	5.1 および 5.0
Dell PowerEdge VRTX シャーシ	CMC	2.1 および 2.0
Dell PowerEdge FX2/FX2s シャーシ	CMC	1.3 および 1.2
Dell Compellent ストレージアレイ	該当なし	6.6 および 6.5
Dell EqualLogic PS-Series ストレージアレイ	該当なし	8.0.4 および 7.1.7
Dell PowerVault MD 34/38 シリーズストレージアレイ	該当なし	8.20.09.60 および 8.20.05.60

- SNMP を使用する場合は、それぞれのデバイスに SNMP が設定されていることを確認してください。Nagios Core コンソールで SNMP トラップを受信する場合は、それぞれのデバイスに SNMP トラップ送信先を設定してください。

詳細については、dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement にある『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「付録」を参照してください。

- WS-MAN プロトコルを使用している場合は、デフォルトのサービスアカウントではなく、WS-MAN サービスアカウントの使用が推奨されます。詳細については、Dell.com/esmmanuals にある各デバイスのユーザーズガイドの「ユーザーアカウントと権限の設定」を参照してください。

対応プラットフォームのリストについては、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「サポートマトリックス」を参照してください。

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のダウンロードとインストール

1. デルサポートサイト (Dell.com/support) または Nagios Exchange (exchange.nagios.org/) から、最新の Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 インストーラをダウンロードします。インストーラは、**Dell_OpenManage_Plugin_v2.0_Nagios_Core_A00.tar.gz** という名前の .tar.gz ファイルとしてパッケージ化されています。
2. ダウンロードしたフォルダを保存した場所に移動し、次のコマンドを実行して内容を解凍します。
tar -zxvf Dell_OpenManage_Plugin_v2.0_Nagios_Core_A00.tar.gz

次のフォルダとファイルが解凍されます。

- Dell_OpenManage_Plugin フォルダ
- Dell_OM_Plugin_2_0_For_NagiosCore_IG.pdf ファイル
- Dell_OM_Plugin_2_0_For_NagiosCore_ReadMe.txt ファイル
- license_en.txt ファイル

3. **Dell_OpenManage_Plugin/Install** フォルダに移動し、次のコマンドを実行してインストーラを起動します。

```
./install.sh
```

4. お使いのシステムに Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされている場合は **Y** を押し、またはその他任意のキーを押してインストール処理を終了し、Nagios Core バージョン 3.5.0 以降をインストールしてから、インストール処理を再度開始します。
Enter を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。
5. インストール済みの Nagios Core の場所を尋ねられたら、パスを入力して **Enter** を押し、または、**Enter** を押して、デフォルト場所である **/usr/local/nagios** を使用して続行することもできます。入力が無効であった場合はエラーが表示され、インストール処理が終了します。


前提条件チェックが実行され、インストール済みの前提条件が表示されます。



メモ: Net-IP、または Net-SNMP および OpenWSMAN の両方がシステムにインストールされていない場合、インストール処理は終了します。前提条件が満たされていることを確認してから、インストールを再度開始してください。


その他の前提条件が満たされていない場合は、インストール手順が適切なメッセージを表示し、インストールが続行されます。

6. **ライセンス契約** に同意する場合は **Y** を押し、同意しない場合はその他任意のキーを押してインストールを終了します。
Enter を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。
7. **Y** キーを押して **escape_html_tags** 属性を「0」に設定、または **N** を押してデフォルト設定「1」で続行します。
Enter を押して、デフォルト値 (N) で続行することも可能です。

 **メモ:** デルプラグインの異なるインスタンスまたはエンティティを区別するため、**escape_html_tags** 属性をより優れた可読性 (マルチラインビュー) のために「0」に設定してインストールを続行することをお勧めします。

8. SNMPPTT をインストールした場合、SNMPPTT がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。

または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパス、**/etc/snmp/snmpptt.ini** で続行することも可能です。SNMPPTT をインストールしておらず、この手順を省略したい場合は、**Enter** を押します。

 **メモ:** このプラグインのインストール中には SNMPPTT をインストールしなかったが、後で SNMP アラートを受信しなくなったという場合は、次の手順を実行します。


- SNMPPTT をインストールします。
- **<NAGIOS_HOME>/dell/install** フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh trap
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、**<NAGIOS_HOME>** の場所はデフォルトで **/usr/local/nagios** です。

9. RACADM をインストールした場合、RACADM がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。

または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパス、**/opt/dell/srvadmin/sbin/racadm** で続行することも可能です。RACADM をインストールしておらず、この手順を省略したい場合は、**Enter** を押します。

 **メモ:** このプラグインのインストール中には RACADM をインストールしなかったが、後で RACADM を統合しなくなったという場合は、次の手順を実行します。


- RACADM をインストールします。
- **<NAGIOS_HOME>/dell/install** フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh racadm
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、**<NAGIOS_HOME>** の場所はデフォルトで **/usr/local/nagios** です。

10. Java をインストールした場合、Java がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。

または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパスである **/usr/bin/java** を使用して続行することもできます。

 **メモ:** このプラグインのインストール中には Java をインストールしなかったが、後で Java バージョンをインストールまたはアップグレードしなくなったという場合は、次の手順を実行します。

- Java をインストールします。
- **<NAGIOS_HOME>/dell/install** フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh java
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、**<NAGIOS_HOME>** の場所はデフォルトで **/usr/local/nagios** です。

これで、プラグインがインストールされました。

11. Nagios Core 設定エントリを検証するには、次のコマンドを実行します。

```
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg
```

正常な設定アップデートでは、エラーまたは警告が表示されません。この手順中にエラーまたは警告を受け取った場合は、それらを手動で解決します。

12. SNMPPTT をインストールしており、SNMPPTT 設定エントリーを検証したいという場合は、SNMPPTT がインストールされているパスに移動して、**snmpptt.ini** ファイル内でセクション **TrapFiles** の下に次のエントリーが存在していることを確認します。

- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf

13. 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。

```
service nagios restart
```

14. SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。

```
service snmpptt restart
```

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のアップグレード

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 1.0 から Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 にアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. デルサポートサイト (Dell.com/support) または Nagios Exchange (exchange.nagios.org/) から、最新の Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 インストーラをダウンロードします。インストーラは、**Dell_OpenManage_Plugin_v2.0_Nagios_Core_A00.tar.gz** という名前の .tar.gz ファイルとしてパッケージ化されています。

2. ダウンロードしたフォルダを保存した場所に移動し、次のコマンドを実行して内容を解凍します。

```
tar -zxvf Dell_OpenManage_Plugin_v2.0_Nagios_Core_A00.tar.gz
```

次のフォルダとファイルが解凍されます。

- Dell_OpenManage_Plugin フォルダ
- Dell_OM_Plugin_2_0_For_NagiosCore_IG.pdf ファイル
- Dell_OM_Plugin_2_0_For_NagiosCore_ReadMe.txt ファイル
- license_en.txt ファイル

3. **Dell_OpenManage_Plugin/Install** フォルダに移動し、次のコマンドを実行してインストーラを起動します。

```
./install.sh
```

4. お使いのシステムに Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされている場合は **Y** を押しします。またはその他任意のキーを押してインストール処理を終了し、Nagios Core バージョン 3.5.0 以降をインストールしてから、インストール処理を再度開始します。

Enter を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

5. インストール済みの Nagios Core の場所を尋ねられたら、パスを入力して **Enter** を押しします。または、**Enter** を押して、デフォルト場所である **/usr/local/nagios** を使用して続行することもできます。入力が無効であった場合はエラーが表示され、インストール処理が終了します。

前提条件チェックが実行され、インストール済みの前提条件が表示されます。



メモ: Net-IP、または Net-SNMP および OpenWSMAN の両方がシステムにインストールされていない場合、インストール処理は終了します。前提条件が満たされていることを確認してから、インストールを再度開始してください。


その他の前提条件が満たされていない場合は、インストール手順が適切なメッセージを表示し、インストールが続行されます。

6. Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 にアップグレードするプロンプトが表示されたら、**Y** を押しします。あるいは、**Enter** を押して、デフォルト値 (Y) で続行することもできます。アップグレードしない場合は、他の任意のキーを押してインストールプロセスを終了します。
7. **ライセンス契約** に同意する場合は **Y** を押し、同意しない場合はその他任意のキーを押してインストールを終了します。

Enter を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

8. SNMPPTT をインストールした場合、SNMPPTT がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。

または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパス、**/etc/snmp/snmpptt.ini** で続行することも可能です。SNMPPTT をインストールしておらず、この手順を省略したい場合は、**Enter** を押します。


 **メモ:** このプラグインのインストール中には SNMPPTT をインストールしなかったが、後で SNMP アラートを受信しなくなったという場合は、次の手順を実行します。

- SNMPPTT をインストールします。
- **<NAGIOS_HOME>/dell/install** フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./install.sh trap

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、**<NAGIOS_HOME>** の場所はデフォルトで **/usr/local/nagios** です。

9. RACADM をインストールした場合、RACADM がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。

または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパス、**/opt/dell/srvadmin/sbin/racadm** で続行することも可能です。RACADM をインストールしておらず、この手順を省略したい場合は、**Enter** を押します。


 **メモ:** このプラグインのインストール中には RACADM をインストールしなかったが、後で RACADM を統合しなくなったという場合は、次の手順を実行します。

- RACADM をインストールします。
- **<NAGIOS_HOME>/dell/install** フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./install.sh racadm

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、**<NAGIOS_HOME>** の場所はデフォルトで **/usr/local/nagios** です。

10. Java をインストールした場合、Java がインストールされている場所のパスを入力してから **Y** を押してインストールを続行します。

または、**Enter** を押して、デフォルトのファイルパスである **/usr/bin/java** を使用して続行することもできます。

 **メモ:** このプラグインのインストール中には Java をインストールしなかったが、後で Java バージョンをインストールまたはアップグレードしなくなったという場合は、次の手順を実行します。

- Java をインストールします。
- **<NAGIOS_HOME>/dell/install** フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./install.sh java

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、**<NAGIOS_HOME>** の場所はデフォルトで **/usr/local/nagios** です。

これで、プラグインがインストールされました。

11. Nagios Core 設定エントリを検証するには、次のコマンドを実行します。

```
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg
```

正常な設定アップデートでは、エラーまたは警告が表示されません。この手順中にエラーまたは警告を受け取った場合は、それらを手動で解決します。

12. SNMPPTT をインストールしており、SNMPPTT 設定エントリを検証したいという場合は、SNMPPTT がインストールされているパスに移動して、**snmpptt.ini** ファイル内でセクション **TrapFiles** の下に次のエントリが存在していることを確認します。

- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf

13. 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。


```
service nagios restart
```

14. SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。

```
service snmptt restart
```

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のアンインストール

1. <NAGIOS_HOME>/dell/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./uninstall.sh
2. アンインストールしてよいかを確認するメッセージが表示されたら、**Y** を押してアンインストールするか、**N** を押してアンインストール処理を終了します。
または、**Enter** を押して、アンインストールを終了することもできます。
3. アンインストール処理を続行するためのプロンプトが表示されたら、**Y** を押して続行するか、**N** を押してアンインストール処理を終了します。
または、**Enter** を押して終了することもできます。

 **メモ:** インストール中に **escape_html_tags** 属性の値を「0」に設定した場合は、<NAGIOS_HOME>/etc/cgi.cfg ファイルに移動してこの値を編集することにより、この値をデフォルト値である「1」にリセットすることができます。

これで、プラグインがアンインストールされました。

4. Dell OpenManage Plug-in がアンインストールされたことを検証するには、<NAGIOS_HOME> フォルダに移動して、dell フォルダが削除されていることを確認します。
5. Nagios Core の設定エントリを確認するには、Nagios Core がインストールされているパスに移動し、次のコマンドを実行します。
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg

正常な設定アップデートでは、エラーまたは警告が表示されません。この手順中にエラーまたは警告を受け取った場合は、それらを手動で解決します。

6. SNMPPTT をインストールしている場合は、SNMPPTT がインストールされているパスに移動し、snmpptt.ini ファイル内のセクション **TrapFiles** の下から次のエントリが削除されていることを確認します。
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf
7. 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。
service nagios restart
8. SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。
service snmpptt restart

デルサポートサイトからの文書へのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- 次のリンクを使用します。
 - すべての Enterprise システム管理マニュアル – [Dell.com/SoftwareSecurityManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
 - OpenManage マニュアル – [Dell.com/OpenManageManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
 - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル – [Dell.com/esmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
 - OpenManage Connection エンタープライズシステム管理マニュアル – [Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement](https://www.dell.com/support/manuals)
 - Serviceability Tool マニュアル – [Dell.com/ServiceabilityTools](https://www.dell.com/support/manuals)
 - OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル – [Dell.com/DellClientCommandSuiteManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell サポートサイトから、
 - a. [Dell.com/Support/Home](https://www.dell.com/support/home) に移動します。
 - b. **製品の選択** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
 - c. **ソフトウェアとセキュリティ** グループボックスで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **Serviceability Tools**
 - **Dell Client Command Suite**
 - **接続クライアントシステム管理**
 - d. ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

関連マニュアル

本ガイドに加え、デルサポートサイト Dell.com/support/manuals で利用できる次のガイドにアクセスすることができます。マニュアルページで **ソフトウェア & セキュリティ** をクリックし、適切な製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスします。

- *Integrated Dell Remote Access Controller 8 with Lifecycle Controller ユーザーズガイド*
- *Dell Integrated Remote Access Controller 7 ユーザーズガイド*
- *Dell PowerEdge M1000e 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド*
- *Dell PowerEdge VRTX 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド*
- *Dell PowerEdge FX2/FX2s 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド*
- *Dell Compellent ストレージレイヤー ユーザーズガイド*
- *Dell EqualLogic PS-Series ストレージレイヤー ユーザーズガイド*
- *Dell PowerVault MD ストレージレイヤー ユーザーズガイド*

www.nagios.org/documentation で、Nagios Core 関連のマニュアルも参照してください。